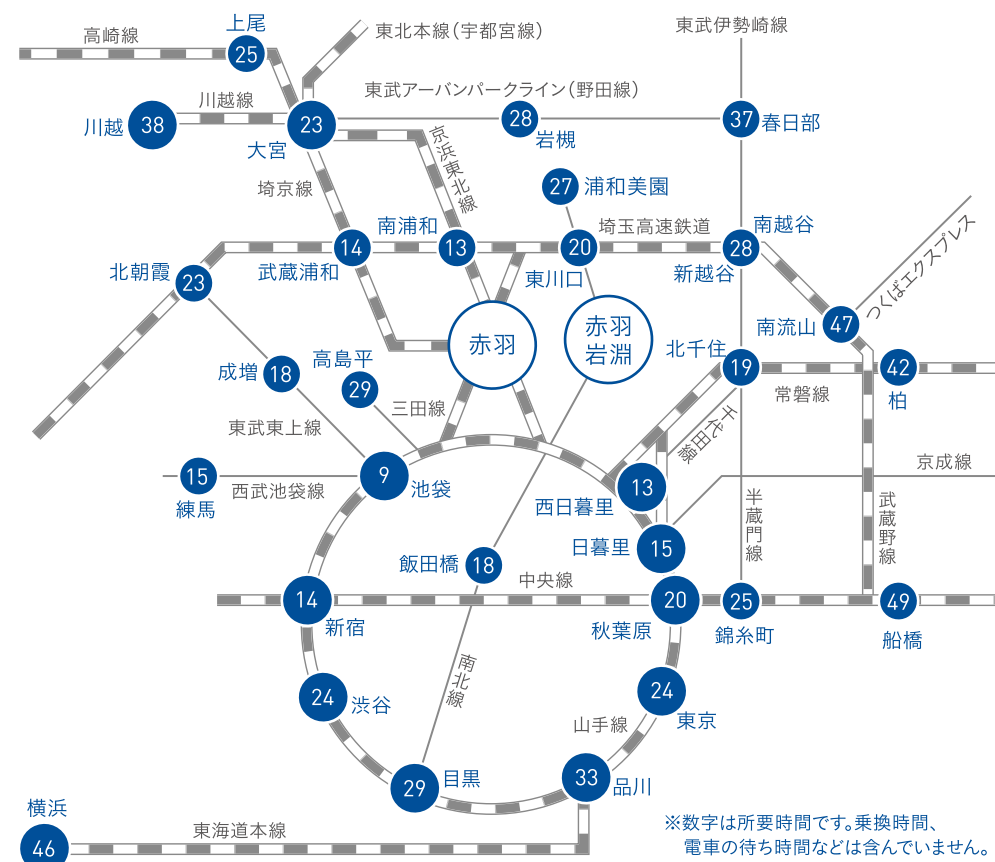
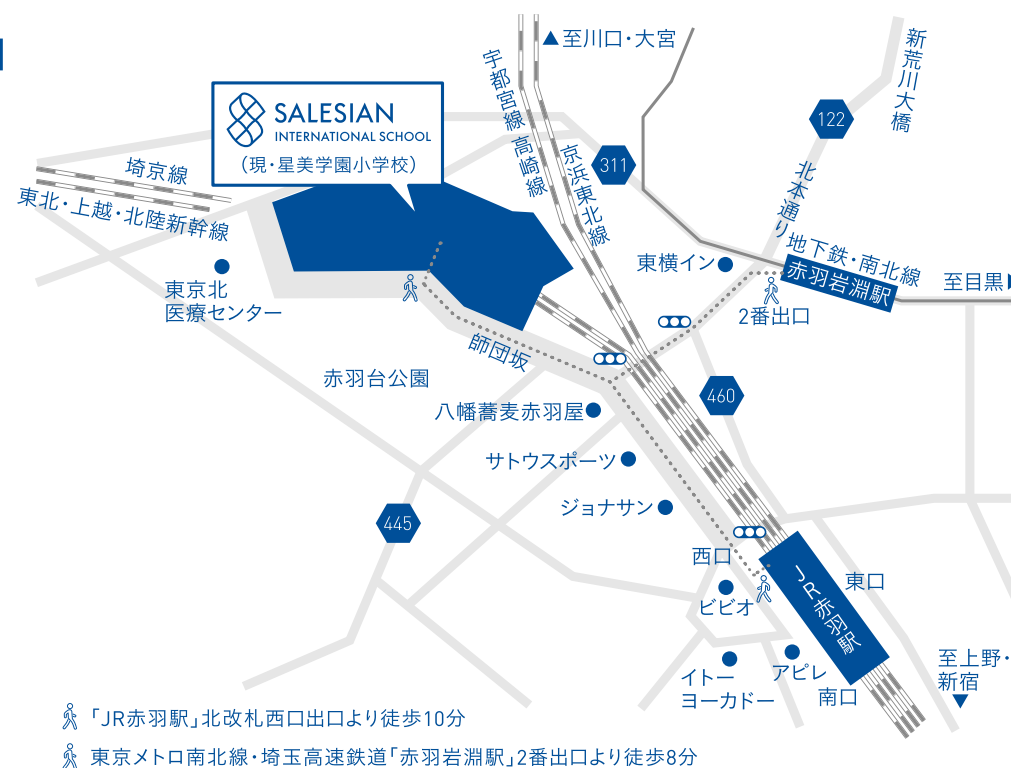


ACCESS

[路線図]



[近隣マップ]



サレジアン国際学園小学校
SALESIAN INTERNATIONAL PRIMARY SCHOOL

インターナショナルクラス / INTERNATIONAL CLASS

〒115-8524 東京都北区赤羽台4-2-14 Tel.03-3906-0053 (代表)
小学校インターナショナルクラス設置準備室直通:080-2343-1621
<https://www.el.seibi.ac.jp/international>
Email: primary@salesian.seibi.ac.jp

HPはこちら



English ver.

SALESIAN INTERNATIONAL PRIMARY SCHOOL

INTERNATIONAL CLASS

LET'S START HERE.
2026



サレジアン国際学園小学校
SALESIAN INTERNATIONAL PRIMARY SCHOOL

21世紀に活躍できる 世界市民力の育成

21世紀、テクノロジーがめざましく進化していく社会で、
私たち人類は幸せになれるのでしょうか。
この問いに対する答えを、誰かが与えてくれることはありません。
AIやロボットといった革新技術を活用して、
すべての人々が幸せに生きていける社会を創造するのは、私たち一人ひとりです。

新しい時代の、新しい世界で、あなたはどのように活躍し、輝きますか？
これから生きるための確かな力と、自ら「善」を選び取る力を、
ぜひサレジアン国際学園で手にしてください。
共に喜び、共に生きる素敵な友人たちと一緒に。

5つの教育重点項目

コミュニケーション力

バックボーンの異なる人と協働することで、多様性や相手の立場を尊重しながら、ミッション達成へと導ける柔軟でタフな交渉力・調整力を身につける。

言語活用力

グローバル社会の共通言語である「英語」の習得。話せるだけでなく、多様な分野で自己表現を達成するためにも、英語で思考できるような言語の活用力を身につける。

心の教育

理性・宗教・慈愛に重心を置いた教育によって、自分はもちろん他者の幸せも考え、その実現に働かせる力を身につける。

数学・ 科学リテラシー

テクノロジーの進化に伴う社会全体の価値観の変容に対応するだけでなく、その担い手として変化する時代のなかでさらに新しい価値を創造する力も身につける。

考え続ける力

何かを推進する際の選択に対して、多くの検討・検証(Logical, Critical, Creative)を重ね、より精度の高い最適解が導き出せる力を身につける。

星美学園小学校はサレジアン国際学園小学校へ

▶ 学校名を新たに、スタートします。

インターナショナルクラス新設

▶ 2026年度入学生より児童を募集します。

HPはこちら



Collaborative Work Space

多様性の重視・英語で学び合い・英語で考え続ける
充実した環境での学習！！

サレジオン国際学園小学校インターナショナルクラスの英語教育は、
多様性の大切さを学びながら、英語で考え、学び合うことを重視しています。
PBL(プロジェクト型学習)やアクティブラーニングを取り入れ、
子どもたちは自分のアイデアを英語で発表し、協力して問題を解決します。
また、担任がインターナショナルティーチャーであるため、
英語を日常的に使いながら、異文化への理解を深めます。
楽しみながら語学力を伸ばし、国際的な視野を広げることができます。

教育の特色

01 英語教育

● P.05 GrapeSEED®とCollaborative Classroom™を用いて、自然な言語習得+アカデミックな英語学習を可能にします。

02 International Teacherが クラス担任

● P.06 1日のほとんどをインターナショナルティーチャーと過ごすため、英語が当たり前の環境で学び、生活することができます。

03 ピアジェの認知発達理論・ STEAM教育

● P.07 21世紀のSTEAM教育(教科横断型授業)をピアジェの認知発達理論に基づいて学習します。

04 PBL型授業

● P.07 形式的操作期に入る11歳ごろからPBL型授業を取り入れ、抽象的な思考力を伸ばします。

05 iTime(探究)

● P.09 オリジナルの教科横断プログラムです。実践的な問題解決と創造的な表現を通じて、世界に発信する力を育みます。

Learning Wall

毎日の時間割、児童の作品、そしてフォニックスや理科、算数などのカリキュラム内容をカラフルに視覚化して展示するエリアです。
子どもたちの成長とともに進化していく、学校生活に創造と積極的な参加をもたらす教育ツールです。

Mail Box

課題やフィードバックのための効率的な連絡システム。整理整頓と責任感を育みます。

Class Library

各教室にはラグマットを敷いたリーディングコーナーがあります。ここは想像力を育む快適な空間。個人読書やグループ活動に最適です。
Class Libraryでは、児童自身が自分の興味とリーディングレベルに合う書籍を選んでリーディングスキルをアップします。

Flexible Seating

動的な動きを可能にする人間工学に基づいてデザインされたイスを譲り合いながら、その日の気分に合わせて児童が選びます。正しい姿勢を保ちながら、アクティブラーニングを行います。

Student Materials Cubbies

色分けされた収納システムで、各ワークスペースに必要な学習ツールを完備しています。こちらから児童自身が使うものを取り出し、終わったら自分で片付けます。

Bulletin Board

児童が互いに成果をほめ合い、コミュニティの絆を深める双方向型の展示スペース。学習テーマに合わせて定期的に更新します。

English Education

英語を”学習”から、英語で”生活”へ

サレジアン国際学園小学校インターナショナルクラスは、“学習”と“生活”の境界線をなくし、英語であふれた環境を作りあげます。そのような環境の中で生活することで英単語や英文法が自然と身につきます。また、英語でのコミュニケーションを楽しむことで英語習得へのモチベーションが向上していきます。

カリキュラムは読み書き能力の5つの基本要素（フォニックス・語彙・読解力・文章構成力・流暢性）を中心に構成されています。例えば文法の学習は生活の中に組み込まれ、“生活するため”の会話力、“洋書を読むため”の読解力として身につけていきます。



Basic Skills



Phonemic awareness Pronunciation
Fluency Vocabulary Speaking

歌やストーリーなど、自然な言語習得の環境を通してネイティブな英語話者を育成するカリキュラムです。子どもたちはネイティブスピーカーが学ぶように、気づかぬうちに毎日英語を学び、自信を持って英語を話せるようになっていきます。



Academic English



英語力別に分かれた少人数グループで教師のサポートのもと、子どもたちは自分で選んだ本を自主的に読み、考え、話し合い、書く力を伸ばします。これらの厳選されたテキストや作品を通して、文脈の中で文法を学びながら自立心も養います。

Phonics Comprehension Reading

Being a Reader™

読解力とともに重要な社会性スキルの向上を組み合わせた読解プログラムです。フォニックス指導は、一人ひとりのレベルに応じて、全体指導と少人数グループ指導の両方で行われます。教師のサポートのもと、子どもたちは多様で魅力的な文章を自分のペースで探究します。



Writing Grammar

Being a Writer™

小学校1年生からの作文練習を通じて英文を書く能力を引き出します。テーマを選んで、作文課題の文脈の中で文法を学びます。高い文章力を育む構造化されたフィードバック・セッションを通して協調性を身につけます。



All-English Classes

インターナショナルクラスでは、ほとんどの教科を英語で行います。英語の教科としての授業数は、1・2年生5コマ、3～6年生7コマですが、その他の多くの科目も英語での学びとなるため、1日の大半を英語で過ごすことになります。

Class Library

読書で広がる探究の世界

Class Libraryは、探究的な学びに不可欠な教育環境です。インターナショナルクラスの教室には、慎重に選ばれた様々なレベルのフィクションとノンフィクションの書籍が常設されており、個別学習とグループ学習の両方をサポートします。ここで毎日、読書の旅へと誘う本に出会います。



Teachers

グローバルな教室を創る教師陣

インターナショナルクラスでは、出身国の小学校教員資格と現地校での経験のある教員が担任を務め、子どもたちとともに学び、ともに生活を送ります。英語に集中できる環境が自然と生まれるため、普段の学校生活の中で基礎はもちろん、将来グローバル社会でも活かせる高度な英語力が身につけていきます。



Piaget's Theory of Cognitive Development

発達と発見の交差点

認知発達理論に基づいた21世紀型STEAM教育

子どもたちの感覚や思考は、段階を経て発達します。ジャン・ピアジェ（スイスの心理学者1896-1980）は認知発達理論^{*}を提唱し、小学校は具体的操作期（1～4年）と形式的操作期（5・6年）の時期にあたると考えました。本校では、この認知発達理論に基づいた21世紀型STEAM教育を提供します。

^{*}子どもの成長を4段階に定義し、知識や思考力、理解力などがどのように発達していくかを説明した理論。

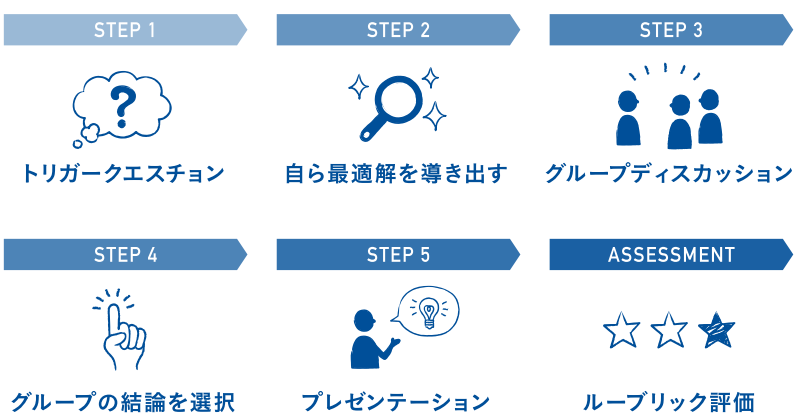
私たちのカリキュラムと指導方法は、児童の発達段階ごとに進化します

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
ピアジェの発達段階	具体的操作期 (7～11歳)				形式的操作期 (11歳～)	
学びの特徴	具体的操作期では、物を操作し体験する経験によって状況把握能力を育み、そのような体験を積み重ねることで物事の因果関係を理解できるようになっていきます。また言語習得能力が非常に高い時期ですので、日英両言語での協働学習を通じて、教科横断的な思考力と多角的に物事を見る力を養うことが可能です。 				形式的操作期では、具体的な事柄がなくても頭の中での思考ができるようになっていきます。抽象的な知識や概念が理解できるようになるため、仮説を立てて推理を行う学びの幅がさらに広がり、グループプロジェクトもより洗練されていきます。専門性の高い教員の指導のもと、形式的操作期でも日英両言語で思考力を育みます。 	

PBL型授業

5・6年生ではPBL型授業を取り入れ抽象的な思考力を育成

PBL型授業とは、正解が一つではない問いに対して自らの最適解を導き出し、仲間たちと思考力を高め合う授業です。その過程で主体的な学びを得られ、5つの教育重点項目を着実に育んでいきます。思考力が芽生えてくる5・6年次から取り入れることで、圧倒的な思考力の獲得が期待できます。



■■■ サレジアン国際学園中学校インターナショナルクラスへのスムーズな接続 ■■■

中学校のインターナショナルクラスのAdvanced Groupは、CEFRのIndependent UserからProficient Userへの育成を目指しています。1週間の39時間の授業のうち21時間以上は「英語で学ぶ」授業が設定され、このような学習環境の中で英語で学び合い、英語で考え続ける活動や環境が整っています。さらに高校では日本の学習指導要領をベースに、DDP (Dual Diploma Program) を導入して西オーストラリアの高校卒業資格も取得できる教育を展開しており、海外大学への進学を目指すことが可能です。



対話と協働を中心に展開する学びで、友だちや教師など、他者の異なる視点をたくさん吸収します。

子どもの成長には「自分で学ぶ」「自分で経験する」ことが大切です。教師はファシリテーターとして支援します。

Cross-Curricular Learning

iTime

理論を実践に変える協働学習

自分の意見を世界に向けて発信する力を磨きます

iTime（アイタイム）は、ピアジェの認知発達理論と最先端のSTEAM教育が会う革新的な学習体験です。この教科横断プログラムは、算数、理科、社会、英語、図画工作を、継続した問題意識を通じて実世界の課題へと統合的に探究します。



6年間の学びの中心は、 中等教育・高等教育で 求められる「探究」

柔軟な児童主導の学習を通じて、従来の教科の境界線を再構築します。固定された授業時間の代わりに、児童の進捗と興味に応じて、統合されたSTEAM活動に時間を配分します。iTimeの核となるのは、挑戦的なトリガー・クエスチョンです。子どもたちは、目の前の聞き手に向けて発表するためにプロジェクトを作り上げ、実践的な問題解決と創造的な表現を通じて、学問的な理解と作品への誇りを深めています。

特長

■ Engineering Design Processを活用

Engineering Design Processは、子どもたちの自然な好奇心と「なぜ?」「どうやって?」という探究心に寄り添いながら、体系的な問題解決の手順を楽しく学べる方法です。

■ iTimeのアクティブラーニング

問題定義、アイデア創出、解決策選択、制作、評価、改善というサイクルで論理的思考と創造性を育み、最後に成果を共有することで、プレゼンテーション能力も向上します。

■ つながりのある学び

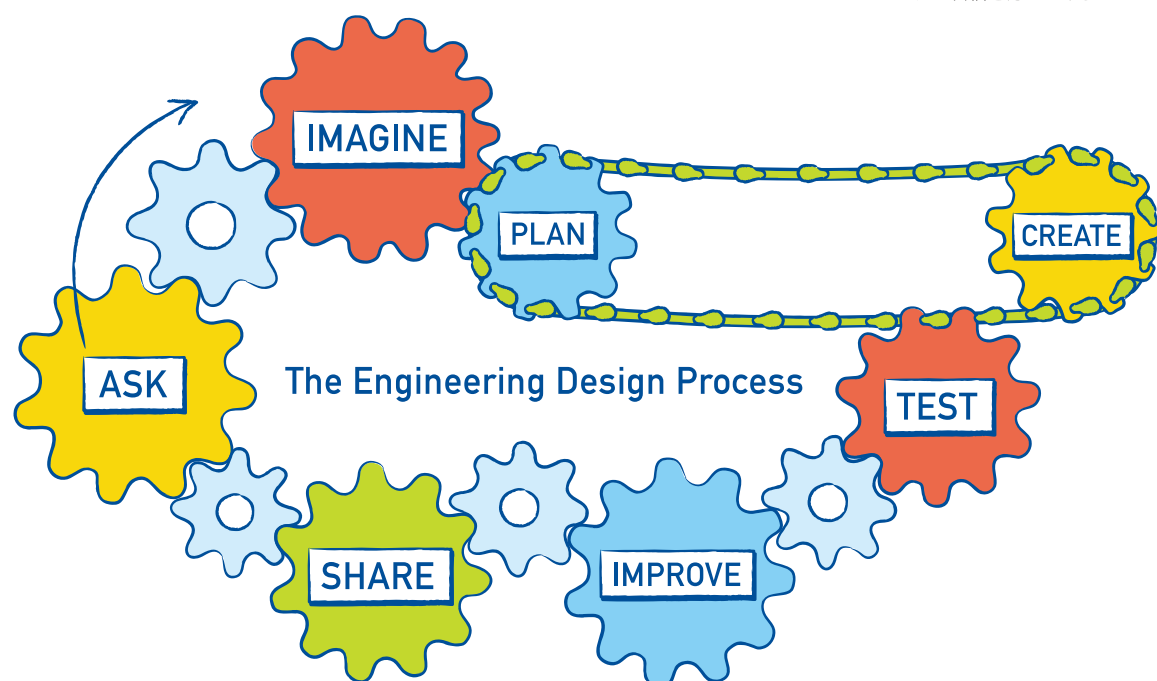
「数に関する物語」、「自然に関する歌」、「地域社会に関する美術プロジェクト」などを通じて、子どもたちはすべてのつながりを理解します。

■ 学際的探究

教師は、前を向いて整列した子どもたちに一方的に話す授業を行わず、むしろ子どもたちは、複雑な関係性を理解する能力の発達に合わせて、STEAMの要素が自然につながっていく体験をします。

■ 段階的な成長

学びの活動は、基礎的なところから始まり、子どもたちの成長段階に応じてそれらの活動の難易度や課題の量をスパイラルに積み上げ、アカデミックなスキルや表現力に自信を身につけることができます。



iTimeの実践例 —STEAMプロジェクト

工作や実験、観察など、手を動かしながら頭をはたらかせるSTEAMプロジェクト。創造的な体験を通して数理的なものの見方、科学的思考法を学び、問題解決力を養います。

1年生
6月

Rainy Season Explorer

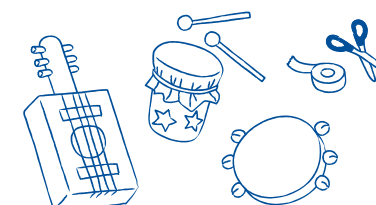
どうして雨が降るのか、地面に染み込んだ雨はどこへいくのか。梅雨の時期には雨の観察を通じて水循環を学びます。また、降水量の測定や蒸発実験にも取り組み、正確な化学的測定の方法論にも触れます。



1年生
11月

Our Sounds

身の周りにあるものを材料に楽器をつくり、音程や音量が変わる仕組みを探究します。さまざまな文化の楽器や歌を聴き、その起源や特徴について話し合って学びます。授業の終わりにはグループで歌を作曲し、発表します。



1年生
2月

The Day & Night Skies

時計の読み方を学ぶ1年生の後半に、みんなで一日の空の変化を観察します。太陽や月、星などの天体を絵に描き、次の時間に天体がどのように動くかを予測。時間の学習を地球の自転と結びつけ、科学的な探究心と観察力を養います。



Daily Learning

多様性と思考力を確実に伸ばす教育環境

多文化・多言語の児童が集まるこのクラスでは、活発な学びを通して協働し、刺激し合います。本校では児童の自主的な思考力、表現力の育成を重視しています。適切なフィードバックで、自己学習と成長を支援します。



1年生から理数教科をしっかりと学び、数学・科学リテラシーを育みます

算数 | Mathematics

世界トップレベルの算数教育を実践しているシンガポールの教科書「think! Mathematics」シリーズを用いて、日本のカリキュラムを補うとともに、さらに先取りする学習を行います。このプログラムは、単なる暗記や特定の方法を学ぶことだけでなく、子どもたちが自主的に考え、問題を解決する力を養うことを目的としています。算数の革新的なタスクやチャレンジを通じて、論理的、批判的、そして創造的な思考力を発展させます。



理科 | Science

オーストラリアの教科書を用いて、読解力や批判的思考力、実践的な実験を組み合わせた学びから、子どもたちの知的好奇心を刺激します。複雑な実験やデータ収集、エネルギーのような抽象的な概念の学びを通して、自立した思考力を育みます。さらに、理科と他教科とを結びつけた総合的な学習体験も取り入れ、子どもたちは科学を学びながら疑問を持ち、未来の革新に向けて準備できる力を養います。

国語 | Japanese

全国基準を超える現代的なアプローチの日本語教育を行います。対話的な学習、文化への浸透、実世界での応用を通じて、日本語と英語の両方で論理的、批判的、創造的なスキルを身につけます。

宗教 | Religion

聖書のメッセージをもとに、多様な人々との出会いや異なる宗教・文化に触れ、互いを理解し共に生きる力を育みます。「対話」と「関わり」を通して、神様からの恵みに気づき、それらを活かしてより良い社会を築ける世界市民を育成します。

Class Schedule

- 1 原則として土曜日は休日とする週5日制
- 2 複数科目を同時に学ぶ柔軟な時間割を実現
- 3 英語、探究ばかりでなく基礎学力・知識をしっかりと定着させるカリキュラム

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
英語	5	5	7	7	7	7
iTime	4	9	5	4	3	3
国語	8	8	7	7	6	6
算数	4	5	5	5	5	5
生活	3	3				
理科			3	4	4	4
社会			3	3	3	3
音楽	2	2	2	2	2	2
図工	2	2	2	2	2	2
体育	3	3	3	3	3	3
家庭					2	2
宗教	2	2	2	2	2	2
学活	1	1	1	1	1	1
	34	40	40	40	40	40

One Day Schedule



下校 14:40 (1年生) / 15:40 (2~6年生)



COME EXPERIENCE
A NEW WAY OF
LEARNING WITH US

FOUNDING SPIRIT 建学の精神

学校法人星美学園は、キリスト教的な人間観・世界観により、創立者聖ヨハネ・ボスコと聖マリア・マザレロが実践した理性・宗教・慈愛に基づく「予防教育法による全人間教育」を行うために創設されたカトリック・ミッション・スクールです。



創立者：
聖ヨハネ・ボスコ

共創立：
聖マリア・ドメニカ・マザレロ

HISTORY 沿革

本校は、カトリック女子修道会「サレジアン・シスターズ」が創立母体です。サレジアン・シスターズは、1872年に聖ヨハネ・ボスコ、聖マリア・ドメニカ・マザレロによって設立され、イタリアのローマ市に本部を置いています。現在、世界97か国に支部を設け、教育および社会事業に従事しています。

1947年	私立星美学園小学校、星美学園中学校 創立	1984年	小学校新校舎落成、ドン・ボスコ像 建立
1951年	学校法人星美学園 創立	1987年	星美学園総合計画落成式挙行
1952年	星美学園本館 落成	1988年	ドン・ボスコ帰天100周年開幕式典 挙行
1953年	星美学園幼稚園 創立	2000年	学園創設50周年記念総合星美祭 実施
1958年	学園大聖堂建立献堂式 挙行	2005年	昇降口横マリア様御像 建立
1960年	東京星美学園短期大学 創立	2015年	ドン・ボスコ生誕200周年星美祭 実施
	星美学園体育館及び小学校特別校舎 落成	2022年	サレジアンシスターズ設立150周年記念
1968年	星美学園小学校校舎 落成（地上4階地下1階）	2026年	サレジアン国際学園小学校と改称し、 「インターナショナルクラス」スタート
1972年	扶助者聖母会設立100周年記念祝典 挙行		
1983年	星美学園総合計画新築工事 起工		

進化の早い時代だからこそ、 10数年後の社会を見据えた学びを

時代が大きく動くなかでテクノロジーの進化もかつてないほどのスピードを感じます。その勢いはいっそう増していくことでしょう。その中で小学生は、10数年後社会で活躍すべく巣立っていきます。そこで活躍できる能力の基礎を初等教育の段階から学ぶことが大切であると考えています。もちろん小学校時代に必須の知識や行動のルールは従来通り学びます。学んだことができることは重要ですが、本校ではそれらに加えて「自ら考えて判断できる。意見を持てる。行動できる。」ことを大事な教育の柱としています。サレジアン国際学園で21世紀に活躍できる世界市民力を、ぜひ獲得してください。



学園長 大橋 清貫
Kiyomichi Ohashi

グローバル社会で活躍できる 主体的な児童の育成を目指して



校長 星野 和江
Kazue Hoshino

「星美学園小学校」は、2026年度より学校名を変更し「サレジアン国際学園小学校」として、新しくスタートします。同時に「インターナショナルクラス」を創設し、更なるグローバル化を図り、英語で学び、考えるカリキュラムを実践する中で、自ら考え主体的に学び続けることのできる児童の育成を目指しています。経営母体のサレジアン・シスターズは、今、世界97か国で青少年のための教育活動を実施しています。小学校生活の大切な6年間を「サレジアン国際学園小学校」で学ぶことにより、将来、世界を舞台に、社会に貢献できる人へと成長することを願っています。私たち教員は「いつも子どもと共に」の精神で歩んでいきます。